・幌延町かわまちづくり検討会（令和 6 年～令和 8 年）

令和 6 年 12 月に、幌延町、民間事業者、地元関係者等からなる「幌延町かわまちづくり検討会」を設置し、ソフト・ハード施策の具体化・実施に向けて様々な議論をしています。

「幌延町かわまちづくり検討会」開催状況

回数	開催日時・場所	概要
第 1 回	日程：令和 6 年 12 月 25 日（水） 時間：18：00～19：45 場所：幌延町役場	・幌延町、幌延旧川概要 ・かわまちづくり制度・計画の説明 ・整備メニュー候補
第 2 回 現地視察	日程：令和 7 年 6 月 26 日（木） 時間：13：00～15：30 場所：幌延旧川	・第 1 回検討会後のアンケート結果 ・かわまちづくり計画書（素案） ・整備箇所の現地状況の確認
第 3 回	日程：令和 7 年 10 月 14 日（火） 時間：10：00～12：00 場所：幌延町役場	・現地視察結果を踏まえたかわまちづくり計画書（案）について
第 4 回	日程：令和 8 年 2 月 10 日（火） 時間：13：30～14：30 場所：幌延町役場	・かわまちづくり計画書について




かわまちづくり検討会の様子




現地視察の様子

② 地域活性化や賑わいあるまちづくりに資する多様な関係者との連携・取組内容

幌延町では、町の新たな導線を確立するため、観光・防災・レジャー等の機能を併せ持った『幌延町交流施設』の整備を予定しています。

幌延町教育委員会は、地元団体「遊考会」を講師に招き、「ふるさと自然体験チャレンジ教室」のカヌー体験を通じて幌延旧川の自然に触れ合い、地域を知る・見つめなおす機会の創出を図っています。

河川協力団体「NPO 法人ダウン・ザ・テッシ」と連携し、平成 4 年から続く国内最大のリバーカヌーのツーリングイベント「ダウン・ザ・テッシ」を開催し、幌延旧川の親水広場がスタートやゴール地点、カヌー講習会会場として利用されています。

自然ガイド等を実施する民間事業者「ポラリス・ネイチャーガイズ＆コンサルタンツ」では、初心者でも体験可能なカヤックツアーを通じ、幌延旧川を含む宗谷地方の魅力発信を図っています。




「ダウン･ザ･テッシ-オ-ペッ」におけるカヌー講習会の様子

５．安全な河川利用に向けた取組

・河川利用者に対する安全面の指導体制

幌延旧川の利用にあたり、事故の防止や幌延旧川近隣の地域住民への配慮、動植物の生息、生育環境の保全等が必要なため、利用者のルールやマナーをまとめたガイドラインを作成します。

・河川利用者が安全確保を図るための取組や情報提供

毎年、河川管理者による安全利用点検を行い、危険箇所があれば補修等を行っています。
また、危険な箇所等には看板を設置し、河川に近づかないよう情報提供しています。

６．都市・地域再生等利用区域の指定に関する取組

・幌延旧川周辺の水辺空間を活かし地域のニーズに対応した日常的な賑わいの創出や魅力あるまちづくりを進めるため、地域の合意形成や事業を推進する実行組織（幌延町かわまちづくり推進協議会（仮称））の発足を目指します。
・民間事業者等によるアクティビティの体験ツアー等の実施や、イベント開催時のキッチンカーの営業など、河川敷地での営業活動が可能となる「都市・地域再生等利用区域」の指定について検討し、指定区間についても今後調整を行います。

７．生物の生息・生育・繁殖の場の保全・創出に関する取組

・幌延旧川は、エゾウグイの生息地や渡り鳥の飛来地となる豊かな自然環境を有しているため、エゾウグイの生息・繁殖・育雛の場、渡り鳥の休息・採餌の場の保全・創出に向けた取り組みを行います。
・ハード整備にあたっては、事前の環境調査を実施し、野鳥や希少植物などの生息環境・河川景観への影響を確認し、極力現況の地形を活かした整備を行います。

＜様式３＞

ソフト施策の個別施策計画書

１．河川名

一級河川天塩川水系天塩川　幌延旧川

２．施策の実施範囲

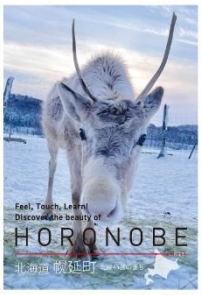
幌延旧川　幌延２号樋門　～　総合スポーツ公園

３．施策概要

幌延旧川でのカヌー等の水上アクティビティによる利活用方法や自然等に関する情報を発信し、観光客や地域住民の日常的な利用を促進して、賑わいのある河川空間の創出を目指します。

１）利活用の利便性向上

・カヌー経験を問わず初心者から中・上級者まで幅広い層が利用できるよう、幌延旧川と周辺地域や町内の飲食店・観光施設をつなぐモデルコースを設定するとともに、案内マップを作成し、幌延旧川周辺の利活用を促進します。



幌延町観光ガイドマップ

２）賑わいの創出

・整備予定の幌延町交流拠点と連携して、モデルコースや幌延旧川の自然に関する情報発信・広報活動を行います。

・カヌー体験や自然観察等のイベント、イベント開催時のキッチンカー営業、冬季に楽しめるアウトドア利用を検討して、新たな観光価値を高めるアクティビティを企画します。



カヌー・カヤック利用

３）持続的な利活用

・利用者のルールやマナーをまとめたガイドラインを作成して、注意喚起・周知を行います。

・幌延旧川の歴史や自然等を学ぶ環境教育を推進します。



自然観察・環境教育

４）周遊性の向上

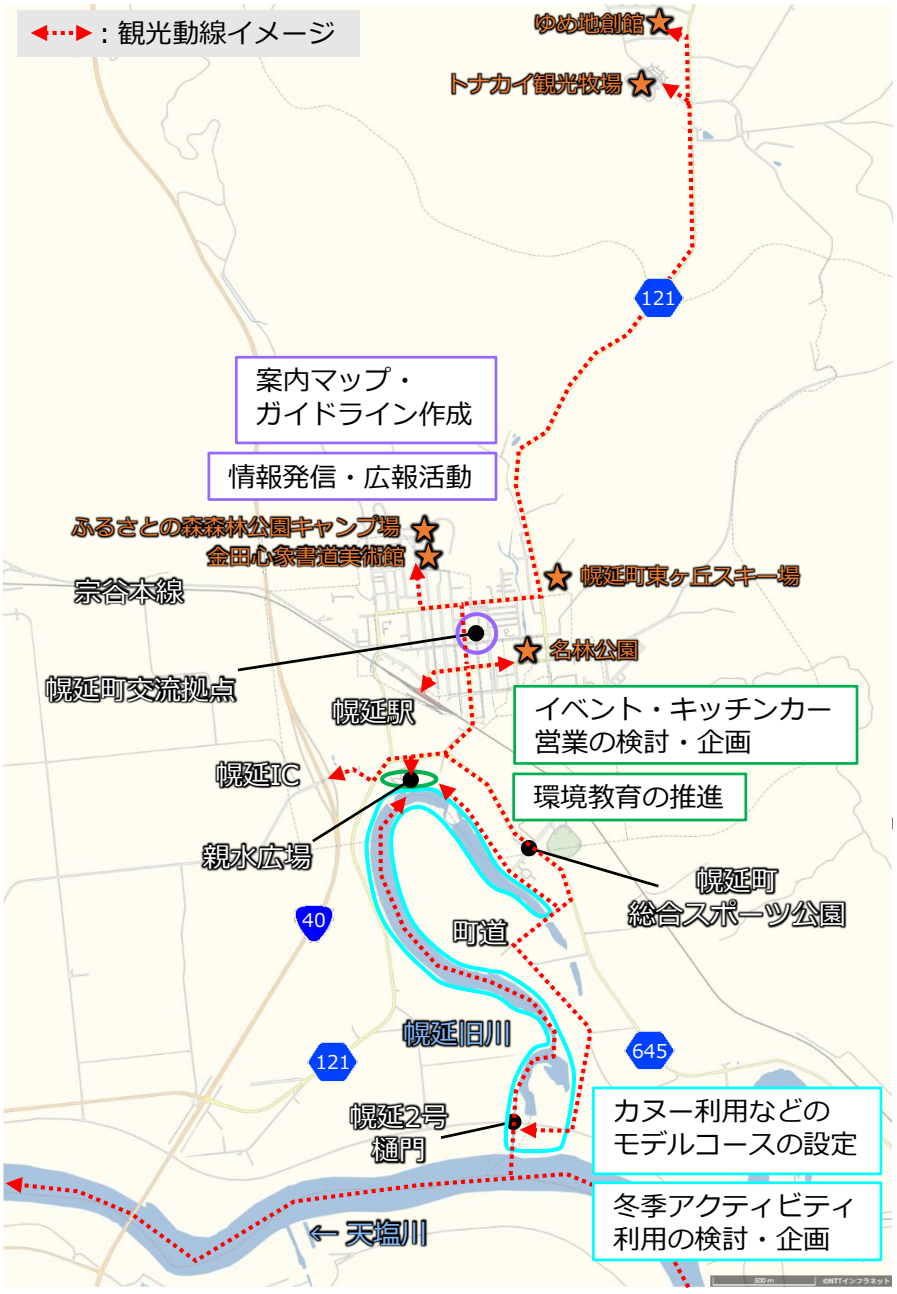
・周辺地域では、天塩地区かわまちづくりやシーニックバイウェイ等の取組が進められているため、これらの取組との連携を検討し、幌延市街地や周辺観光施設の周遊性向上による、幌延町の活性化・賑わいの創出を図ります。

（参考）位置図

【幌延町市街地周辺の取組】

夏季は、カヌー体験や自然観察等のイベント、イベント開催時のキッチンカー営業、冬季はアイスカルーセル等のアクティビティ等、年間を通じたイベントを企画します。

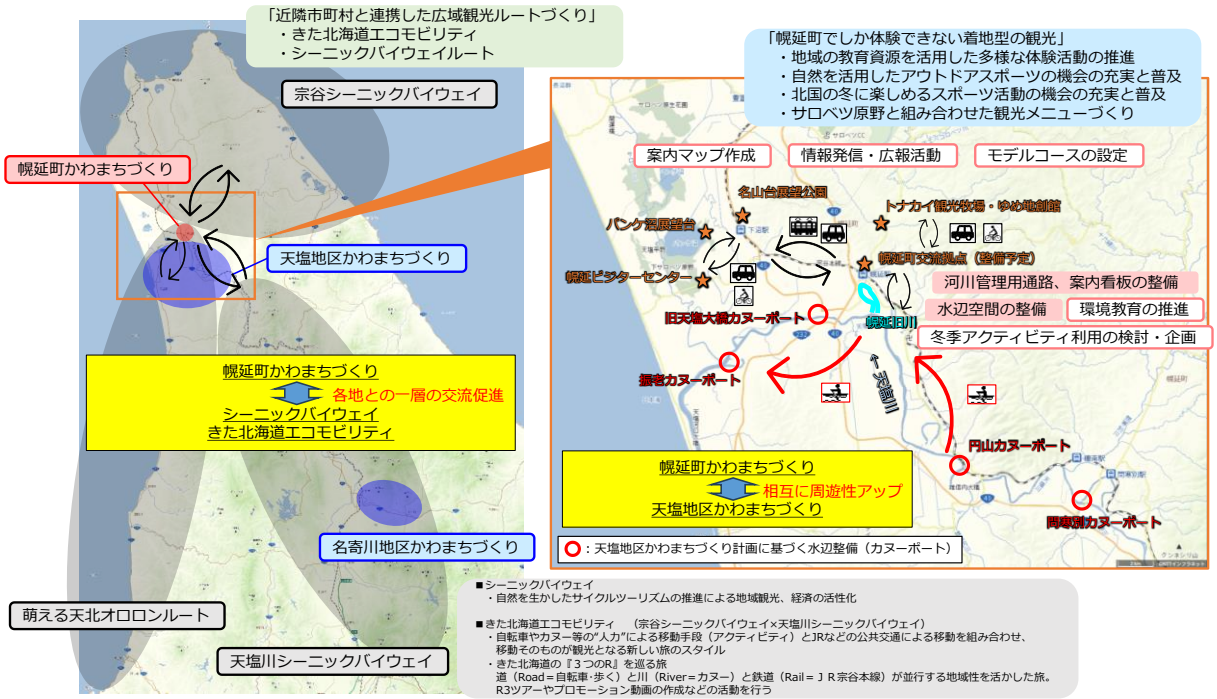
整備予定の幌延町交流拠点と連携した情報発信・広報活動により、幌延市街地を来訪する観光客や地元住民を水辺に誘導し、賑わいを創出します。



【幌延町周辺地域と連携した取組】

天塩川では、「天塩地区かわまちづくり計画」（平成 27 年登録、令和 3 年変更）により、天塩川下流域の水辺整備が実施されているため、幌延旧川の水辺整備により、上下流の水辺の回遊性向上を図ります。

幌延町周辺の「きた北海道」は原始的でダイナミックな自然と手つかずの美しい風景が残る地域で、「きた北海道エコ・モビリティ」や「シーニックバイウェイ」等の取組が進められているため、それらと相互連携するよう調整を図ります。



幌延町周辺地域の取組との連携イメージ

幌延町内には、ラムサール条約登録湿地のサロベツ原野が広がっており、事業者によるガイドツアーの取組が進められているため、それらと相互連携するよう調整を図ります。



※出典：ボラリス・ネイチャーガイズ＆コンサルタンツ（カヌーガイド）HP

※出典：NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク（河川協力団体）HP

サロベツ湿原の取組との連携イメージ